



## 新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事 山岡景一郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は酉年。「酉」の意味は「果実が極限までに熟した状態」を表しているとされ、商売にはうってつけの年のようなようです。3年後の2020年には東京オリンピックが開催され、その特需による景気回復が期待されますし、また、「爆買い」現象は少なくなっているものの外国人観光客は依然として増加の傾向にあるようですので、その消費活動には期待が持てるものと思います。一方、1月にアメリカでは新大統領が就任しますが、その就任に対する期待と不安が混在する中

で、円高が円安に振れる「トランプ現象」とも言われる状況が起きています。また、昔と違い、今はとてつもない量の情報が氾濫しています。パソコンに向かえばいとも簡単に大量の情報を手に入れることができます。多くの人はそうした情報の渦の中で判断し、生活をしています。どんな方法が適切なのかは分かりませんが、情報もうまく発信すれば吉と出るということはよく聞く話です。こうした本当に多様な状況の中で、いかに正確な情報を掴み、状況を的確に把握し、分析・判断し、そうした流れに上手く乗って対応していくのか・できるのか、明暗を分けるように思います。昨年11月に開催した生活衛生営業経営研修会で講師が、「今は人々の価値観など考え方の大転換のある時期、経済発展を信じて新しい思考で人任せにせず果敢にチャレンジを！」と話されましたが、そのとおりでと思いますし、そんな年となるように努力していきたいものです。

ところで、今年、生衛法施行60周年。人間で言えば還暦の年を迎えます。全国的に多彩な行事が展開されることと思いますが、こうした節目の年に当たって、念頭に置いておくべきことは、生衛法制定の経過やこれまでの改正経過だと思います。細かいことは逐一申し上げますが、生衛業の先人たちは数の力で権利を得、守ってきたことを忘れてはいけないと思います。今、各生衛組合では組合員数の減少に歯止めがかかりません。それぞれの組合で様々な工夫をして、組合員確保に努められているものと思います。引き続き組織として一層の力が蓄えられますようご尽力をお願いします。当指導センターにおきましても皆様のサポート機関として生衛業が発展していくよう努力してまいります。引き続きのご支援とご協力をお願いします。

結びに、ご家族皆様のご健勝とご多幸、ご家業の弥栄を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

**本年もよろしく願い申し上げます。**



理事長 (代表理事) **山岡景一郎** (社交料飲)

副理事長 **佐竹 力總** (料理)

副理事長 **三嶋 吉晴** (麺類飲食業)

専務理事 **石川 徳雄** (指導センター)

常務理事 **八木 浩** (飲食業)

常務理事 **北原 茂樹** (旅館ホテル)



## 共生社会の実現に向けて

京都府知事

山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

### 昨年を振り返って

昨年は、地方創生の動きが本格化する中、オール京都の取り組みで文化庁の京都への全面的移転が決定するとともに、京都丹波高原国定公園の誕生と「京都モデルフォレスト運動」の10周年を祝い、森の京都博の中核イベントとして第40回全国育樹祭を実施するなど、京都の地域力を生かした取り組みを積極的に展開することができました。また、京都を縦貫する自動車道が京丹後市まで開通し、観光客も過去最高の賑わいを記録する中、京都舞鶴港にも多くのクルーズ船が来港するなど、観光の面でも充実した一年になりました。改めて関係の皆さまにお礼を申し上げます。

しかし一方では、熊本地震や鳥取県中部地震など災害が相次ぐとともに、平成27年の国勢調査の結果からも、少子高齢化や東京一極集中の進行が改めて確認されました。また、北陸新幹線のルート選定過程でもクローズアップされた地域間格差の問題や、増加する非正規雇用の問題、子どもの貧困問題など、社会構造の変化から生じる問題も深刻化しつつあります。

さらに、国際情勢を見ても、保護主義的な思想の台頭が顕著になるなど、様々な観点から二極化が進んでおり、その中で争いの種が芽を出し始めていることに危惧を覚えています。また、昨年、神奈川県相模原市の障害者施設で起きた痛ましい事件は衝撃的でしたが、他者に対する尊重の念を忘れた事件も増加してきているような気がするのでは私だけでしょうか。

### 共生こそ京都の文化

今年京都は、地域創生戦略に基づき、「文化創生」により京都の価値を発信していこうとしています。私は、この京都の「文化」の中にこそ、こうした時代に立ち向かう大きな答えがあると信じています。

京都は長い歴史に彩られた地域です。丹後王国として栄えた北部、平城京から恭仁京や長岡京など、遷都を繰り返しながら平安京に至った南部、豊かな森の恵みで都を支えた中部。それぞれの地域が個性を生かし、互いを支え合って京都をつくっています。近年、環境問題や少子高齢化など持続可能性が問題になりますが、まさに京都の文化は持続可能な文化と言えます。

もともと平安京という都自体、唐の都長安を模したものでありますが、外国から輸入した文化を日本独特の文化へと育むことにより、千年の都として「歴史との共生」を果たしてま

いりました。さらに、千年の間、都であり続けたという持続可能性を支えたのが、京都議定書の精神に代表される「環境との共生」です。

また、仏教各宗派の本山が多く存在するとともに、日本で最初のキリスト教主義の大学が京都で開学されるなど、多様な思想が共生する京都には、伝統産業から先端産業まで幅広い産業が共生し、さらには、47の大学が個性を持ちながら共生しています。

そして、門掃きや打ち水などに見られるように、人々が隣人に対する思いやりを持って接する京都の文化は、まさに、「共生の文化」というべきものだと思います。

海と人、森と人、お茶と人と、京都府は新しい共生の道を探ってきました。また、学研都市では、文化と学術の共生が開花しようとしています。この共生という文化こそ、京都が今世界に問わなければならない文化ではないでしょうか。

若者も高齢者も、女性も男性も、障害者も健常者も、ともに支え合って、お互いの個性を尊重することができてこそ、はじめて持続可能な社会が成立し、将来に向けて共に発展する可能性が生まれるのではないのでしょうか。

右か左か、黒か白かといった二者択一の対立と争いの中で、排斥と淘汰が繰り返される世の中だけは後世に残したくありません。様々なものが共生する中で、未来に向けて発展することのできる社会こそが、京都に生きる私たちが次の世代に託すべきものではないでしょうか。

### 「もうひとつの京都」

「もうひとつの京都」では、「海」「森」に続き、いよいよ「お茶の京都」の年を迎えます。舞台となる山城地域は、「日本茶のふるさと」として、古くからお茶の文化を支え、育んできた地域です。家族団らんの象徴であり、一期一会の文化の源であるお茶、そしてそれを支える山城の景観。ここにも「共生の文化」が息づいています。

“Discover Premium Green”のコンセプトのもと、「お茶の京都博」で世界に京都文化を発信する年にしたいと思います。

そして、「もうひとつの京都」セカンドステージを牽引する各地域のDMOのもと、地域やその地に暮らす人々の結びつきを生かし、共に支え合って生きていく「共生の観光」を育んでいきたいと思っています。

### 共生社会の実現へ

こうして本年、京都府は、子育てや医療、産業、労働、環境、観光などあらゆる分野で、「共生」をキーワードとして、府民の皆さまの生活に寄り添った施策を進めてまいりたいと考えております。「交流」と「文化」から生み出される「京都力」を存分に発揮し、京都から世界へ、100年後、200年後の未来へとつながっていく新たな「共生社会」の実現に向け、共に歩んでまいりましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



## 文化の力で日本を元気に！ 世界に貢献！

京都市長

かどかわ

だいさく

門川 大作

新年あけましておめでとうございます。

この一年が皆様にとって幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

昨年は、京都が文化で彩られた一年でした。「文化の殿堂」ロームシアター京都のリニューアルオープンに始まり、鉄道博物館や漢字ミュージアムは新たな賑わい拠点に。京響60周年やマンガミュージアム10周年、伊藤若冲生誕300年と多くの節目が重なり、盛り上がりしました。

そんな中、長年の悲願であった文化庁の全面的移転が決定！市民ぐるみ、オール京都の取組が実を結び、嬉しく思う一方で、京都が負った責任の重さもひしひしと感じています。

生活文化、地域の絆や自然との共生、ものづくり、おもて

なしの心などが千年を超えて受け継がれてきた京都。京都に息づく文化を活かすと同時に、文化と伝統産業、観光、教育、福祉、健康長寿、コミュニティの活性化などあらゆる分野を融合させる新たなモデルを創造し、文化の力で全国を元気に。新年のスタートに当たり、決意を新たにしています。

そして本年、文化庁の地域文化創生本部（仮称）が発足。さらに2月から11月まで実施する「東アジア文化都市」では、日中韓、アセアンとの文化交流を深め、世界平和に貢献。大政奉還150周年事業や2020年東京オリ・パラに向けての文化力プロジェクト。京都議定書誕生20周年で環境問題にも力を入れます。

東京一極集中の是正や人口減少社会の克服が大きな課題です。より一層の子育て支援や中小企業の活性化、安定した雇用の創出、防災減災等、安心社会の実現。暮らしに安心、豊かさ実感、未来に責任！そのための取組を確実に実施し、これらの課題に皆様と共に取り組んでまいります。

「京都で子育てしてよかった」「京都に住み続けたい」と実感できるまちの実現に向け、共々に力を合わせてまいりましょう！

本年も御指導、御支援、よろしく願いいたします。



平成二十八年 秋 旭日双光章

八木 浩 氏

京都府飲食業生活衛生同業組合理事長

生衛業界の発展に尽力された永年の功績が認められ叙勲が授与されました。栄えある受章おめでとうございます。



# 栄えある受賞おめでとうございます

## 平成28年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

### 知事表彰者

クリーニング	本多 政信	喫茶飲食	山田喜久夫
旅館ホテル	藪下 誠	中華料理	山下 晴夫
美容業	山田 敬三	料理	栗栖 正博
麺類飲食業	松野 泰治	飲食業	牧野 順二
寿司	木村 裕一		

### 協議会会長表彰者

公衆浴場業	吉本 誠	麺類飲食業	前田 智史
公衆浴場業	岡崎 泰昌	中華料理	松下 貞幹
旅館ホテル	神田 和行	料理	北村 眞純
旅館ホテル	中西 眞	料理	左 敏泰
美容業	原口 潔治	飲食業	上村 信子



### ◆生活衛生営業経営研修会 (平成28年11月25日)

#### 『世界の変化と自己改革』

京都大学大学院教育学研究科長・教育学部長  
教授 高見 茂 氏

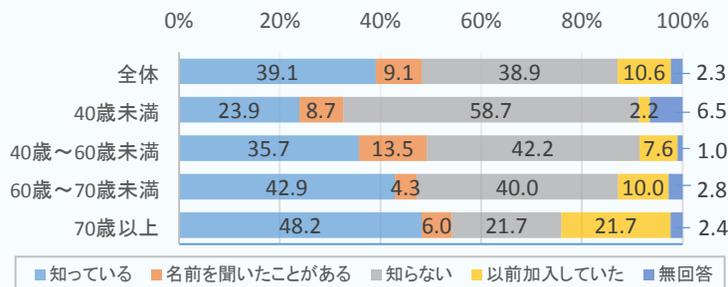
20年前と現在の激変する世界の変化、これからの指針となる知恵について、国家の先行きを見通す学問として発展した算命学から現在の日本の国家トレンドは何か、この時代に何をすべきかについてお話をいただきました。



## 生衛業の振興と生衛組合に関するアンケート調査結果 ③

(公財) 全国生活衛生営業指導センター「生衛業の振興と生衛組合に関するアンケート調査結果」より抜粋

### 組合非加入者の「経營業種の組合の認知状況」について (年齢階級別)



全体では、経營業種について組合があることを何らかの理由で認知している割合(「知っている」「名前を聞いたことがある」「以前加入していた」)は約6割(58.8%)となっていますが、40歳未満では約6割(58.7%)が組合を「知らない」という結果となっています。

●詳細結果は、当センターホームページ (<http://www.Kyoto-seel.com/>) 上において掲載を行いますので、組合組織の基盤強化や組合活動の活性化にご利用ください。

## 指導センター事業開催報告・お知らせ

### ◆ 第36回京都SeeLフェア

(平成28年11月23日)

今年度は『あすのKyoto・地域創生フェスタ』と協賛し、京都府立植物園において開催しました。好天に恵まれ約5,400名の方にご来場をいただき、各生衛組合がそれぞれに工夫を凝らした飲食・販売や展示を行う「SeeLプロの個性派屋台」、理容組合による「理容師によるフェイシャル美容法」、麺類飲食業組合による「そば打ち実演ショー」、クイズ、各生衛組合・指導センター提供の豪華景品が当たるお楽しみ抽選会など、生衛業ならではの身近で親しみやすい雰囲気の中で、生衛業への理解を深めてもらう機会とすることができました。



### ◆ 後継者育成支援事業出前授業 (寿司組合)

京都市立洛風中学校/中学2年生 16名 (平成28年11月25日)

業界を代表する各世代の職人を講師に迎え、それぞれが寿司職人の道へ進んだ経緯を通して仕事に対する様々な視点や価値観の持ち方について伝えていただきました。また、生徒・教職員を交えた実演体験では卓越した技を披露し、生衛業の一層の理解を深めてもらう機会となりました。



### ◆ クリーニング業務従事者講習 クリーニング師研修

(平成28年11月13日)

(平成28年12月11日)

平成28年12月1日より適用の「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法 JIS L 0001」のポイントを中心に、事故賠償基準の改訂、感染症対策等、業界が消費者から求められている諸問題について受講いただきました。



### ◇ 標準営業約款登録 (新規登録・再登録)

登録日 平成29年2月1日 (水)

### ◇ 第4回景気動向等に関するアンケート調査 (平成29年1月～3月)

第4回生衛業経営状況調査 (平成28年10月～12月期)

提出期限 平成29年2月2日 (木)

\*\*\*\*\*

### ● 無料税務相談会

日時 平成29年3月2日・3日 (木・金)

13:00～16:00

※事前予約制 (一人1時間まで)

場所 京都ガーデンパレス (京都市上京区)

申込先 当指導センターへご予約ください。  
TEL 075-722-2051

確定申告時期の直前に開催します。  
ご予約はお早めをお願いいたします。

平成28年分 **確定申告**  
申告書には **マイナンバー** の記載が必要です!  
詳しくは **確定申告** 検索 国税庁  
所得税および復興特別所得税・贈与税  
**申告と納税** 平成29年 3月15日(水)まで

## Kyoto SeeL通信

Vol.188 Winter

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人  
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90

TEL 075-722-2051

<http://www.Kyoto-seel.com/>

京都SeeL

mobile access

